

# NEWS RELEASE



2014年4月18日

凹地 第2回企画展／市川平・土田祐介の光をテーマとした二人展

## 『ひかりのへや』展

2014年5月10日(土)から開催

遊工房アートスペース(東京・杉並区善福寺)と関わりのある作家が集い設立したグループ「凹地(くぼち)」の第2回目の企画展「ひかりのへや」展を2014年5月10日(土)から5月25日(日)まで開催致します。

今回の企画展「ひかりのへや」は、彫刻家/市川平と、写真家/土田祐介の二人が、通常の空間とは一変し「暗室」となった遊工房ギャラリーを、それぞれの「ひかり」で満たします。

市川作品の{ひかり}—構造物の内部から漏洩する光、サイバーパンクな印象すら受ける光、マッシブな物質を穿つように発する闇を裂く光。土田作品の{ひかり}—静寂の景色に佇む街灯やモニターの光そして太陽の光、記憶を刻印するように捉えた光源と光景。

今回、両者の作品をあえて壁に隔てられた空間に配置する事によって鑑賞者に観念的な関係性を想起させ、彼らが捉えた「ひかり」の性質と違いに焦点を当てます。

メディアや表現方法・世代など、立ち位置や視点も異なる二人の作品を閉じ込めた「ひかりのへや」で、遮蔽された空間に溢れる「ひかり」の様々な姿やその表情を、全身でご体感・お楽しみください。

「凹地(くぼち)」は、凹んだ土地に様々なものが集まるように、地域から国際社会までジャンルを超えた作家の招聘とその交流を目的とし、作家達が自分達で厳選した作家による展覧会やイベントを企画・開催していきます。その作家独自の視点による様々な試作を通じて、既存の価値を再定義しつつ、我々やこの地域にとっての美術の役割や可能性を模索していきたいと思えます。

### 〓 展覧会概要 〓

展覧会名称: 第2回凹地企画展「ひかりのへや」

会期: 2014年5月10日(土)～5月25日(日)

閉廊: 月火休み

開廊時間: 12:00 - 19:00 (最終日17時まで)

■ オープニング: 5月10日(土)

トークディスカッション 17:00～「ひかりを扱うことについて」

レセプション 18:00～20:00

会場: 遊工房アートスペース (167-0041 東京都杉並区善福寺3-2-10)

アクセス: JR中央線、西荻窪駅北口、2番バス停より上石神井駅行他バスにて「善福寺」バス停下車、目の前。駅より徒歩約20分。または、東京メトロ丸の内線・JR荻窪駅北口・0番バス停より武蔵関駅行他バスにて「善福寺」バス停下車、すぐ。(注: JR中央線は、土日、西荻窪駅に停車しません。)

主催: 凹地

協力: パトロンプロジェクト

入場料: 無料

URL:

<http://kubochi.jimdo.com> (凹地)

<http://www.youkobo.co.jp> (遊工房)

### 【リリースに関するお問い合わせ】

凹地事務局

〒167-0041 東京都杉並区上井草4-25-19サンマンションB1

電話: 080-4170-7028 (担当: 門田)

Mail: [kubochi2013@gmail.com](mailto:kubochi2013@gmail.com)

URL: <http://kubochi.jimdo.com>



## || プロフィール ||

市川平

彫刻家。1965年東京都生まれ。1991年武蔵野美術大学大学院修了。プロジェクト遂行型のインスタレーションによる作品展開。2000年以降「コンタクト・ドームツアープロジェクト」「シークレット・ガーデンプロジェクト」「マジカル・ミキサープロジェクト」など個展等多数。



土田祐介

写真家。1981年兵庫県生まれ。2005年多摩美術大学卒業。同大学の副手・助手を経て、東京を拠点に写真家の活動をしている。主な展示 2013年『土田祐介個展 "PUSH AND WAIT"』(FEI ART MUSEUM YOKOHAMA) など。個展グループ展多数。

